

第18回チラベルトカップ長野県少年サッカー大会要項

- 1 名称 2002ワールドカップパラグアイ松本キャンプ記念
第18回チラベルトカップ長野県少年サッカー大会
- 2 主催 チラベルトカップ実行委員会（構成団体：松本市、松本市サッカー協会）
- 3 主管 松本市サッカー協会
- 4 後援 長野県、長野県教育委員会、松本市サッカースポーツ少年団連合会
- 5 協賛 全国農業協同組合連合会長野県本部、(株)アルペン（スポーツデポ南松本店）

6 大会期日

1・2回戦	4月14日（日）
3・4回戦	4月27日（土）
準々決勝	5月11日（土）
準決勝・決勝・閉会式	5月12日（日）

7 会場

松本市かりがねサッカー場、松本市サッカー場、松本市あがた運動公園多目的広場、
松本市山辺運動広場、松本市島立運動広場

8 参加資格

平成31年度日本サッカー協会第4種登録チーム（女子含む）

第4種 選手18名以内・監督1名・コーチ2名以内

（各チーム有資格者の審判2名帯同のこととする。）

9 表彰

優勝、準優勝 ⇒ カップ授与

優勝、準優勝、3位に賞状、全員にメダル授与

ベスト4チームから1人優秀選手賞 ⇒ 楯授与

ベスト4チーム及び優秀選手へ副賞

大会規定

1 参加資格

- (1) 平成31年度日本サッカー協会第4種（女子含む）に加盟登録したチームであること。
- (2) 上記チームに所属する選手であり、日本サッカー協会発行の選手証を有するもの。
- (3) 上記チームの構成は単一チームに限られ、年間を通じて継続的に活動していること。
- (4) 登録人数は18名以内とする。登録メンバーの変更は、大会第一日目の第一試合まで可とする。
- (5) 1クラブ（JFA登録チーム）から2チームまでのエントリーを認めるが、その場合、1チームに6年生が8名以上登録されていることとする。
- (6) 有資格者の審判員2名を大会期間中、帯同できること。

2 試合方式

- (1) トーナメント方式
勝敗の決しない場合は、PK戦（3名）により次戦への進出チームを決定する。
PK戦は、試合終了時フィールドにいた選手のみ参加する権利があるものとする。
決勝戦のみ10分間の延長を行い、なお、決しない場合はPK戦によるものとする。
- (2) 組み合わせ
実行委員会の責任抽選とします。ただし、次の点を考慮します。
 - ・第1日目の会場当番チームは該当ブロックへ配します
 - ・第1試合は同地区同士の対戦にならないようにします

3 競技規則

- (1) 2019年度日本サッカー協会競技規則（JFA8人制サッカー競技規則）によるが、次の規則を別に定める。
 - ア 競技時間 前後半20分ハーフの40分ゲームとし、インターバルは7分とする。
 - イ 試合球 4号公認球（各チーム持参）準決勝・決勝については事務局で用意する。
 - ウ 選手人数 ①常に8人（1名はゴールキーパー）で競技する。
②選手が退場処分を受けた場合、けが等の治療でフィールドを離れる場合も選手を補充し、常に8人としなければならない。
 - エ 選手交代 ①自由な交代制とする。10名まで登録し、10名まで交代できる。
②一度退いた競技者も再び出場でき、何度でも交代可とする。
【交代の手続き】
 - ①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールド外に出る。
 - ②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - ③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。ただし、ゴールキーパーの交代のみアウトオブプレー中に行う。
 - ④交代について、主審、副審の承認を得る必要はない。
 - オ メンバー表 ①ベンチ入りする選手の氏名を記入すること。
②ベンチに入ることのできる人数は、最大13名（交代要員10名、スタッフ3名）までとする。

- カ ユニフォーム ①日本サッカー協会ユニフォーム規定に適合した異色のもの2着を登録し、試合に際しそれを着用する。正ユニフォームに2色を使用している場合、副はそれ以外の色とする。
②審判が通常着用する黒色と同一または類似したユニフォームのシャツを用いる事はできない。ゴールキーパーについても同様である。
- キ 反則と不正行為 ①警告・退場は、通常の競技規則に準ずる。
②選手が退場処分を受けた場合、当該チームは交代要員の中から競技者を補充し、常に8人でプレーする。
- ク その他 ①キックオフから直接得点することはできない。
②退場および累積警告2度を受けた選手は本大会次戦の出場を認めない。
③ベンチ（監督・コーチ・役員他）が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とする。
④競技中の大会要項及び大会規定に記載のない事項が発生した場合は、実行委員会において対処する。

4 審判

- (1) 3人制で行う。
- (2) 試合を担当する審判員は、審判証（電子登録証、または印刷物）を携帯し、試合開始前に本部に提示すること。
- (3) 主審は、割り当てに関係なく上級の者が行うこととする。
- (4) 審判服（シャツ、パンツ、ストッキング、ワッペン）を必ず着用すること。
- (5) 主審は、試合終了後審判報告書を提出すること。

5 競技場

- | | | |
|----------------------|------------------------------------|-------|
| (1) 競技場の大きさ | 縦 68m横 50mを基本とする | |
| (2) ペナルティーエリア | ゴールライン上ゴールポスト外側に | 12.0m |
| | その地点からゴールライン直角に | 12.0m |
| (3) ゴールエリア | ゴールライン上ゴールポスト外側に | 4.0m |
| | その地点からゴールライン直角に | 4.0m |
| (4) センターサークル | | 6.5m |
| (5) ペナルティーマーク | | 8.0m |
| (6) ゴール | 少年用（内寸 縦 2.15m 横 5.00m） | |
| (7) フリーキック時ボールと壁との距離 | | 6.5m |
| (8) 交代ゾーン | ベンチ側のタッチライン、ハーフ
ウェイラインとの接点から両側へ | 3.0m |

6 注意事項

- (1) 各チーム監督、コーチ、選手はスポーツ傷害保険に加入済みであること。
- (2) 競技中の傷害（病気）事故については、各チームの責任とする。
- (3) 施設利用については、各会場本部の指示に従い、ゴミ等は各チームで持ち帰ること。
- (4) 駐車場内での事故責任は会場管理者、大会主催団体等は一切責任を負わない。また、会場周辺の路上駐車は固く禁止する。